



山陽色素株式会社  
環境経営方針

## 【環境理念】

化学産業の発展は私たちに豊かな生活をもたらしましたが、一方で環境への負荷を増大させ資源の枯渇が懸念される事態を招いています。かけがえのない私たちの地球を守り、次世代に豊かな自然を残していくことは、いま私たち全員に求められている責務であり、使命でもあります。環境との共生を図り、色彩科学を通じて社会的責任を果たし、豊かな社会の実現に、私たちは貢献していきます。

国は気候変動枠組み条約締結国会議において、世界に向けて2050年のカーボンニュートラルを表明しました。当社においても、その目標の道程である2030年二酸化炭素排出量を2013年度比46%減に向けて取り組んで参ります。

## 【環境経営方針】

1. 山陽色素は、「環境基本法」の基本理念、及び当社の環境理念に基づいて環境経営方針を定め、一人ひとりが環境保全のために行動します。
2. この地球に生きる人間一人ひとりにとっても、また企業にとっても、環境問題が最も重要な課題であるとの認識のもとに、社員一人ひとりが環境保全に努める。
3. 当社の経営重点課題の一つとして、環境マネジメントシステムを構築、運用し、全員参加で環境負荷低減に取り組むとともに、システムの継続的改善を図る。
4. 国の環境関連法規、地方自治体の条例、規則、基準及び社内の環境関連規則類を遵守し、環境の保全と向上に努める。また、海外も含めた当社の顧客及び市場における環境関連要求事項を適切に把握し、対応に努める。
5. 当社が実施する各種の環境負荷低減活動の中の重点実施項目として、下記の項目を設定する。
  - (1) 省資源・省エネルギー活動の推進による二酸化炭素排出量の削減
  - (2) 水使用量及び廃棄物の削減
  - (3) 環境に配慮した製品の開発
  - (4) グリーン調達の推進
  - (5) 化学物質の管理及び環境に有害な物質の排出削減
  - (6) 全従業員に対する環境教育及び啓蒙活動の実施

制定：2004年10月1日  
改訂：2024年4月1日

代表取締役社長

齋木 健四郎